

令和2年度 郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事 ・関係者合同会議

と き 令和2年9月3日(木) 15:00～15:50

ところ ホテルニュータナカ2階「平安の間」

[報告:常任理事 河村 一郎]

会長挨拶

河村会長 本日はお集まりいただき、感謝申し上げます。インフルエンザの予防接種を定期接種対象者から行うよう呼びかけをするという厚生労働省の方針があるが、13歳未満は2回打たなければいけない。子どもを優先すべきという話もあり、おそらく現場では両者が混在することになると思われる。また、子宮頸がんワクチンは勧めていかなければならない。総論は賛成で各論については異論があるかもしれないが、まずは行政も含めて、ベクトルを同じ方向に向けていくことが大切だと思われる。

協議事項

1. 県健康増進課からの報告

県健康増進課 麻しん風しん予防接種実施状況は、平成30年度の第1期は99.5%、第2期は95.1%であり、昨年度は第1期が96.4%、第2期が95.7%となっている。麻しん風しんの予防接種は国が目標と定める接種率が95%となっている。平成30年度に引き続き、昨年度も第1期、第2期ともに各市町95%を上回った。

風しんについては、2019年1月から6月にかけて全国的に患者増加があり、2,000件を超えた。山口県でもこの期間に18件発生している。そのため、公的な予防接種の対象となっていなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性に対して、今年度も風しん第5期定期接種が始まっているが、先天性風しん症候群を防ぐためにも、妊婦への感染を防ぐことが重要である。県では妊娠を希望する女性等の中で、風しんの免疫がない方に、風しんワクチン接種を促進す

ることを主な目的として、風しん検査事業を実施している。実施方法は平成30年度までは保健所で実施していたが、昨年度から保健所検査と医療機関の2本立てで窓口を広げて実施している。対象者は妊娠を希望する女性、又は妊娠中の女性の配偶者、抗体価の低い妊娠中の女性の同居者である。過去に検査を受けたことがない、ワクチン接種がない、検査診断例による罹患率がないことが条件になる。下関市に居住している方は、下関市の事業が使用できるので対象外になる。また、風しん第5期定期接種の対象者は市町で実施する定期接種にかかる抗体検査が活用できるので、この事業では対象外になっている。なお、風しんの第5期定期接種は集団免疫を目的としているものであるが、妊娠を希望する女性の方などは個人予防として妊娠中に風しんに罹らないよう、より確実な予防が推奨されるので、抗体価の基準をより厳しくしている。風しんの第5期定期接種と県の事業のどちらもご協力いただいている先生方はご注意いただきたい。

予防接種に関する間違いについては、定期接種実施要領に基づいて重大な健康被害につながるおそれのある間違いについては随時、国に報告し、接種間隔の誤りなど直ちに重大な健康被害につながる可能性の低い間違いについては、年度ごとに国に報告している。毎年の傾向として、接種間隔の間違いや不必要な接種例が挙げられる。10月からのロタウイルスワクチンの定期接種では、これまでのワクチンと異なり、接種時期がより細かく規定されているので、今一度ご注意いただきたい。

2. 令和3年度妊婦・乳幼児健康診査における参考単価（案）について

河村 令和3年度の妊婦・乳幼児健康診査における参考単価（案）を県医師会で作成し、山口県産婦人科医会及び山口県小児科医会にも検討いただいた上で、事前に郡市医師会及び市町に提示した。郡市医師会と市町で協議した結果、妊婦健診、乳幼児健診とも了承いただいた。

3. 妊婦健康診査について

藤野産婦人科医会長 妊婦健診、産後2週間健診、1か月健診については今のところ円滑に進んでいる。

4. 乳幼児健康診査について

田原小児科医会長 乳幼児健診の実施については、各医療機関と各自治体のご協力により円滑に進んでいる。COVID-19の問題に絡み、特に小児科は受診控えが全国的に問題になっている。これに伴い健診並びに予防接種の実施時期が大幅にずれ、定期健診の対象時期を過ぎてしまうということが起きている。山口県では実施の遅れはないようであるが、健診が適時行わなければならないことを周知啓発していただきたい。

河村 乳幼児健診や予防接種は「不要不急」には該当しないことを保護者に伝えていただきたい。

5. ロタウイルス感染症予防接種について

県健康増進課 ロタウイルス感染症の予防接種が今年10月1日から定期接種に加わる。対象のワクチンはロタリックスとロタテックの2種類であり、令和2年8月1日以降に生まれた方が対象である。接種期間はロタリックスは生後6週になった日の翌日から生後24週に至る日の翌日までの間、ロタテックは生後6週になった日の翌日から生後32週に至る日の翌日までの間となっている。接種回数は、ロタリックスは2回、ロタテックは3回となっている。なお、安全性の観点から生まれた日の翌日から起算して14週6日までに初回接種を完了させることが望ましいとされている。

河村 ロタウイルス感染症の予防接種については、7月に各郡市医師会及び各市町へ県医師会から広域化して実施する旨を通知しており、その後、標準料金案をお示しし、郡市医師会と市町で協議をした結果、全市町で了承いただいた。

県内統一様式の予診票について説明する。まず、ロタリックスとロタテックを間違えないように、標題部分に5価か1価かを選択するようにし、さらに、保護者の記入欄にも過去の接種ワクチンを選択する欄を設けている。質問項目については、「今日、体に具合の悪いところがありますか」の後ろに「例えば下痢など」という文言を追加している。これは、ロタウイルスのワクチンは経口接種であるため、下痢があると延期したほうがよいと思われるため追加した。また、国が示した予診票で「母親が妊娠中に免疫を抑制する薬の投薬を受けましたか」とされている質問については、免疫抑制剤の妊娠後期での胎盤を通じての移行と、生後6か月までの母乳への移行を心配される場合も考慮し、「母親が妊娠中から現在に至るまで」と変更した。なお、予診票の色は「白色」で印刷する。

6. 令和2年度広域予防接種における高齢者インフルエンザ予防接種について

河村 8月に県医師会から各市町へ高齢者インフルエンザ予防接種の料金、期間等を調査した。接種期間は全市町で10月1日から2月27日もしくは28日までとなっている。接種料金は全市町が4,950円、自己負担額は1,490円となっており、阿武町では一昨年度から、75歳以上で後期高齢者医療被保険者は無料になっている。また、周防大島町では今年度、自己負担額が無料になっている。この件について、周防大島町よりご説明をお願いしたい。

周防大島町 周防大島町は今年度、新型コロナウイルス感染症対策の一環とした町の施策で、すべての町民に対し、1人1回、インフルエンザの予防接種費用を全額公費負担で実施することとした。高齢者については定期接種、65歳未満の場合は任意のインフルエンザ予防接種として自己負

担なしで実施する。

接種の医療機関は町内の医療機関を原則としているが、長期入院や施設入所、基礎疾患に持病があり町外の医療機関にかかっている等の事情があり、町外の病院で接種を希望される方については、高齢者はこれまでどおり広域予防接種協力医療機関での接種をしていただきたい。65歳未満の場合は、本人からの申し出を受けて、事前に各医療機関と個別に委託契約をして、接種していただく。各医療機関には住所確認や手続き等でご負担をおかけすることとなるかと思うが、ご理解とご協力をお願いしたい。

7. 令和3年度広域予防接種における個別接種標準料金について

河村 令和3年度の広域予防接種における個別接種標準料金（案）を県医師会から郡市医師会、市町へお示しした。郡市医師会と市町で協議した結果、全市町で了承いただいた。

8. 風しんの追加的対策について

河村 昨年度から3年間で実施されている「風しんの追加的対策」について、個別接種標準料金（案）を県医師会から郡市医師会、市町へお示しした。郡市医師会と市町で協議した結果、全市町で了承いただいた。

9. その他

(1) 令和2年度山口県医師会学校医研修会・学校医部会総会・予防接種医研修会・学校心臓検診精密検査医療機関研修会について

河村 令和2年12月6日（日）に開催を予定している。詳細は、改めて各郡市医師会へ通知する。

(2) その他

田原小児科医会長 今年度は熊本県などを中心とした自然災害が発生した。子どもたちの記録の上で重要なのが健康診査の結果と予防接種歴である。これは基本的に母子健康手帳に委ねられているが、電子的に記録できることを推進していただけるのか。各行政では予防接種台帳があるが、現在、全市町で予防接種台帳が電子化されているのか教

えていただきたい。

河村 各市町の方にお伺いしたが、紙媒体で管理されているところはないようである。

田原小児科医会長 HPVワクチンについては、定期接種であることは継続されている。ぜひ、各行政単位で周知していただきたい。私ども医療者側が不作為を問われないためには、的確に周知をすることが大切である。産婦人科の先生方も啓発をされているかと思うが、自治体で何らかの取り組みがあれば教えていただきたい。

藤野産婦人科医会長 産婦人科医会もHPVワクチンを積極的に勧めていくことを考えている。昨年度、県医師会と県小児科医師会及び県産婦人科医会の三者で積極的に取り組むことを合意した。下関市はハガキで通知すると聞いているが、いかがか。

下関市 今年度、下関市では高校1年生の女子（対象となる最後の学年）及び保護者にハガキで個別に定期接種であることの周知を行う。

藤野産婦人科医会長 妊婦に対するPCR検査が実施されるので、今後、円滑に検査ができるように各市町もご協力いただきたい。

河村 新型コロナについて山陽小野田の方にお話いただきたい。

山陽小野田医師会 県小児科医会でも話が出たが、保健所から医師会関係に対する連絡が後手に回っている。私が学校医を務めている学校で濃厚接触者が出て閉鎖中になっているという情報を保護者からいただいた。非公表なもの分かるが、保健所と医師会の関係を密にしてもらい、もう少し情報を早くいただきたい。

河村 医療機関になかなか情報が入ってこないというのはわれわれも思っている。